

第1回つるおか新図書館基本計画企画懇話会

令和7年7月8日(火) 9:30～
鶴岡市立図書館 2階 講座室

次 第

1 開 会

2 委嘱状交付

3 挨拶

4 報告・説明

(1) 新図書館整備基本構想

資料1

(2) 令和7年度の検討内容とスケジュール

資料2

5 協 議

(1) 新図書館の基本的な機能の方向

資料3

＜ご意見をいただきたいポイント＞

(1) 現図書館の課題や市民の意見を踏まえ、新図書館における基本的機能の方向をお示ししているが、このほか留意すべき点はあるか

6 コメント

7 その他

8 閉 会

資 料 一 覧

- 1 つるおか新図書館基本計画企画懇話会次第（裏面 資料一覧）
- 2 つるおか新図書館基本計画企画懇話会名簿（裏面 座席表）
- 3 資 料

資 料 1	新図書館整備事業基本構想概要版
-------	-----------------

資 料 2	令和7年度の検討内容とスケジュール
-------	-------------------

資 料 3	新図書館の基本的な機能の方向
-------	----------------

つるおか新図書館基本計画 企画懇話会 名簿

<委員> (敬称略)

女性5人/8人中

	氏名	役職等	出席
No. 1	東山 昭子	鶴岡市芸術文化協会相談役	○
No. 2	三浦 洋介	図書館協議会会長	○
No. 3	本間 俊美	読育アドバイザー	○
No. 4	大久保 紀子	社会教育委員	○
No. 5	五十嵐 亜紀	読み聞かせ活動者	欠
No. 6	市川 至音	LINEヤフー株式会社	○
No. 7	佐藤 尚貴	朝日地域WaGeSho	○
No. 8	鈴木 けい	鶴岡市地域おこし協力隊	○

<アドバイザー>

	氏名	役職等	出席
No. 1	山崎 博樹	知的資源イニシアティブ 代表理事 (図書館)	○
No. 2	矢口 哲也	早稲田大学教授 (建築・まちづくり)	○
No. 3	仲 綾子	東洋大学教授 (子育て・建築)	○※オンライン

<鶴岡市>

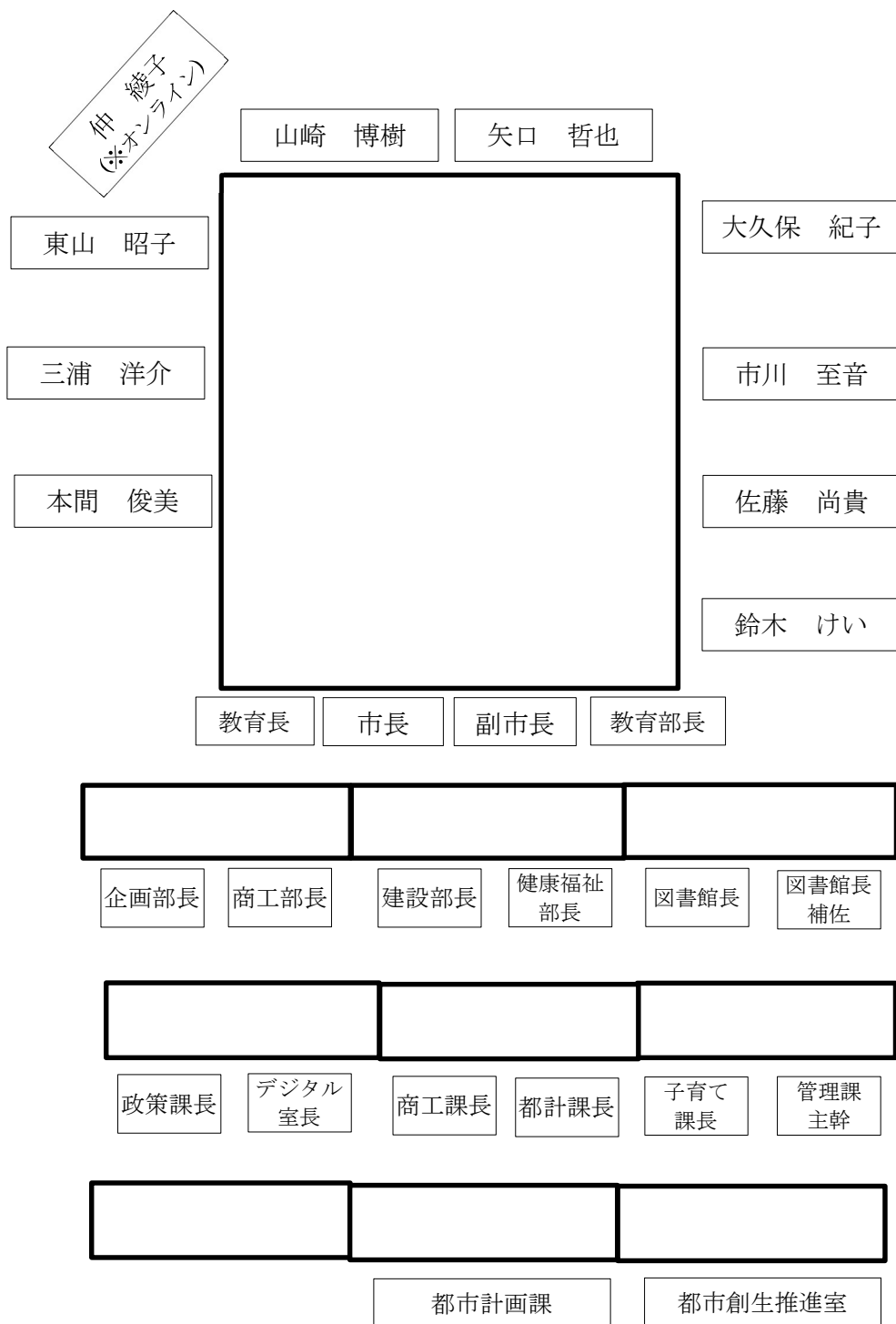
	氏名	役職等	出席
	皆川 治	市長	○
	成澤 和則	教育長	○

<事務局>

	氏名	役職等	出席
統括	阿部 真一	副市長	○
事務局長	白幡 有	教育委員会事務局教育部長(兼)都市創生推進監補佐	○
	上野 修	企画部長(兼)都市創生推進監(兼)EBPM推進監	○
	齋藤 正浩	政策企画課長(兼)都市創生推進室長(兼)EBPM推進室長	○
	渡部 貴博	都市創生推進室主査	○
	阿部 純一	都市創生推進室専門員	○
	奥山 真裕	デジタル化戦略推進室長	○
	菅原 青	健康福祉部長(兼)地域包括ケア推進監	○
	成沢 真紀	健康福祉部次長(兼)広報官(兼)子育て推進課長	○
	三浦 一夫	商工観光部長(兼)都市創生推進監補佐	○
	坂口 礼奈	商工観光部次長(兼)商工課長(兼)中心市街地活性化推進室長	○
	坂井 正則	建設部長(兼)都市創生推進監補佐(兼)上下水道部参事	○
	岡本 臣市	都市計画課長(兼)建設部広報官	○
	菅原 崇	都市計画課都市計画専門員	○
	伊藤 智康	教育委員会管理課主幹	○
	五十嵐 恭子	図書館館長(兼)新図書館検討室長(兼)郷土資料館長	○
	今野 章	図書館館長補佐	○
	松本 涉	図書館主任 (兼) 新図書館検討室主任	○

令和7年度 第1回 つるおか新図書館基本計画企画懇話会 席次

(敬称略)



出入口

傍聴席

出入口

整備方針

●建物の規模

利用者の多様性に対応し、効率的なサービスを提供し、十分な書棚と収蔵スペースを確保することから、新図書館のおおよその延床面積を3,500～4,500㎡程度とします。
さらに市民生活を支え、新たな活動を生み出す機能に必要な面積を加算します。

●環境負荷低減等の配慮事項

新しい図書館は、ネット・ゼロ・エネルギービル（ZEB）※など、環境負荷低減に向けた取り組みや、バリアフリー、周辺環境との調和にも配慮します。

※ZEB：快適な室内環境を保ちながら、建物で消費する年間の一次エネルギー収支をゼロにすることを目指した建物

●図書館までの移動手段と駐車場

徒歩、自転車、公共交通、自家用車などのアクセス手段に配慮します。駐車場や駐輪場は来館者がスムーズに利用できる方式を検討し、あわせて公共交通の利便性向上を目指します。

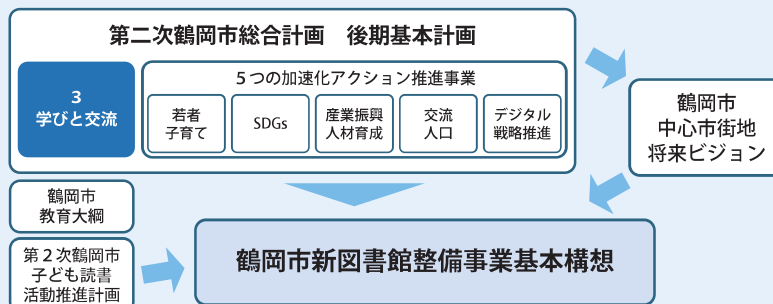
●中心市街地との関係

本市の歴史的経緯より、これまで集積を進めてきた文化学術、官庁施設のストックとの相乗効果を生み出すことが可能な中心市街地への整備を優先的に検討します。

●運営の考え方

図書館の多様な情報を活用し、市民と協働し、市の施策や地域と連携したサービスを提供できる職員の確保と育成に継続的に取り組み、市全域の図書館サービス向上を目指します。
併せて、郷土資料館の役割を継続するため、専門的な知識を有した職員を配置し、小学生から研究者までの幅広い層に対してサービスを提供します。
加えて、図書館活動を支える多様な市民参加の形を検討していきます。

主な上位・関連計画の整理



新図書館整備事業基本構想 概要版

【発行】鶴岡市立図書館・郷土資料館

〒997-0036 山形県鶴岡市家中新町14番7号

TEL：0235-25-2525 FAX：0235-25-2526

MAIL：library@city.tsuruoka.yamagata.jp

URL：https://www.city.tsuruoka.lg.jp/bunka/lib/index.html

新図書館整備事業基本構想 概要版

学び 出あい 育つ みんなでつくる つるおか図書館

図書館は、市民の学びを支え、誰もが気軽に利用できる身近な場所として重要な役割を担っています。

多様化・複雑化する社会やニーズに対応し、あらゆる市民が、集い、出あい、安心して過ごせる、豊かに暮らすためのまちの中心になることを目指して、基本構想を策定します。



鶴岡市立図書館
イメージキャラクター「リードン」
©Tsuchida Yoshiharu



鶴岡市立図書館イメージキャラクター「ヨンデル」
©Tsuchida Yoshiharu

現状分析

●現状分析

現在の中央図書館は竣工後 40 年が経ち、資料増加に伴う施設の狭あい化、老朽化に伴う雨漏りなど、課題が顕在化しています。また、駐車場不足や場所の分かりにくさ等が指摘されています。図書館を構成する 3 つの要素、「人・建物・資料」の観点で他市と比較した結果は下表の通りです。

●人口 1 人あたりの数値で比較した結果

	全国上位10%平均	鶴岡市	県内8都市	東北13都市
職員数	-	0.00021人	7位	13位
来館回数	-	1.31回	7位 (1都市不明)	12位
貸出冊数	9.48冊	3.35冊	6位	11位
建物（床面積）	0.046㎡	0.027㎡	7位	11位
開架率	51.5%	46.5% (本館：27.1%)	6位 (1都市不明)	12位 (1都市不明)
蔵書数	4.51冊	3.33冊	7位	8位
受入れ冊数	0.147冊	0.074冊	7位	11位
資料費	305.33円	137.8円	7位	10位

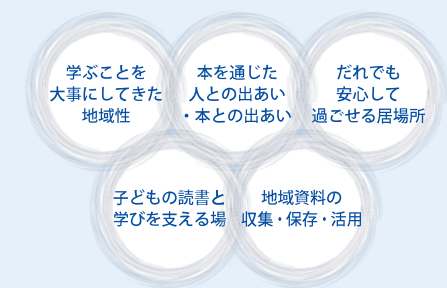
出典：日本の図書館統計と名簿 2023
※来館回数はヒアリング調査による

市民対話

●市民対話の概要

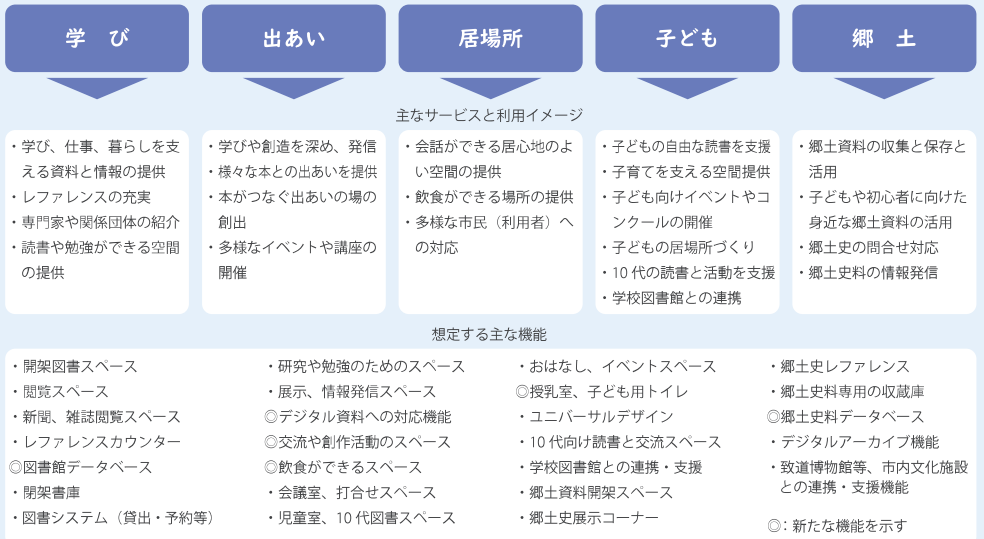
- ・新図書館構想企画懇話会（全3回、座談会方式）
- ・図書館ミーティング（全3回、ワークショップ方式）
- ・デジタルプラットフォーム（オンライン掲示板）
- ・WEBアンケート（小学生・一般）
- ・分館エリアミーティング（全5回）
- ・対象別アンケート（ナイトツアー・中央高校他）
- ・ヒアリング（移住者交流会・学校司書研修会他）

●市民対話から見てきた大事にしたい視点



基本的な機能

●基本理念と五つの基本方針に基づく、図書館としての基本的な機能整理



基本理念と5つの基本方針

学び 出あい 育つ みんなでつくる つるおか図書館

① 学び

豊富な資料や情報を収集・発信し、すべての市民の学び、仕事、暮らしを支えます。

② 出あい

本との出会い、本を通じた人と人との出会いと交流を生み出し、地域づくりに貢献します。

③ 居場所

だれでも気軽に立ち寄り、居心地よく過ごせる場所になることを目指します。
また、出あいや学びを育む空間づくりも大切にします。

④ 子ども

子どもや家族が気兼ねなく過ごせる空間を整備し、子どもの読書活動と個性を尊重した学びを支えます。郷土の歴史や文化にふれる機会を提供し、次の世代を育てます。

⑤ 郷土

鶴岡の歴史と文化をつなぎ高めるため、地域の資料を収集し、保存・活用し、その魅力を発信します。

本市固有機能の整理

●五つの分館

藤島、羽黒、柳引、朝日、温海に設置された5つの分館は、身近な図書館として、地域に寄り添った図書館サービスを引き続き提供します。新図書館の理念と方針を踏まえ、分館（※1）でも利便性を高めていくことを検討します。

※1：藤島分館については「藤島文庫エリア等将来構想」の中で検討予定

●移動図書館「やまびこ号」

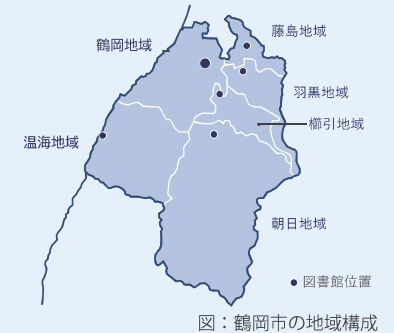
貸出や返却を行う巡回地（サービスポイント）をきめ細かく設定し、子どもや高齢者など移動手段が限られる市民の読書活動を引き続き支えます。

●郷土資料館の在り方

今後も資料の収集と保存、活用を行います。多くの人に郷土史料を展示・紹介する機会を設け、歴史と文化が根付いた鶴岡のアイデンティティを引き続き支えます。

●市民の暮らしを支え、活動を生み出す機能

図書館と連携することで、新たな市民活動を生み出し、相乗効果も期待できる機能を基本計画段階で検討します。



図：鶴岡市の地域構成



写真：自動車文庫やまびこ号

	令和7年度									
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
有識者の検討体制 ● つるおか新図書館基本計画企画懇話会	第1回 (7/8) ・基本構想の振り返り ・スケジュール ・新図書館基本的機能					調査検討 第2回 (11~12月) 第3回 (12~1月) 第4回 (2~3月) ○基本計画案に関すること 〔・分館、移動図書館のあり方・付加機能 ・建設候補地 ・運営方法 ・事業手法 ・施設規模など〕				
● 郷土資料館あり方検討会	第1回 (6/25) 課題・方向性の整理		第2回 (9月)			第3回 (11月)		第4回 (2月) 将来像まとめ		
市民対話 ● 図書館ミーティング ● デジタルによる意見聴取等	✓ (8月~) 図書館ミーティング ✓ (8月~) デジタルプラットフォームによる意見聴取 ✓ (順次) 関係審議会・関係団体からの意見聴取									

新図書館の基本的な機能の方向

- ✓ 新図書館整備基本計画の検討にあたり、郷土資料館の方向については、今年度「郷土資料館あり方検討会」において議論しています。
- ✓ そのため、第1回企画懇話会では、郷土資料館の内容を除く新図書館の基本的な機能の方向について、本資料を基に、ご意見を頂戴したいと考えております。

鶴岡市立図書館の現状と課題 ①図書館本館1階

鶴岡市立図書館の現状と課題

- ① 現図書館の床面積は2,180㎡（2階含）。人口1人当たりの床面積は「0.027㎡」であり、県内、東北管内の都市と比較し、十分な施設規模とは言い難い
- ② 本館の開架率は27.1%で他都市と比較しても低水準となっている。開架スペースが手狭なことから、利用する市民が直接手に取ることのできる本も限られている状況

<現状（県内・東北都市との比較） ※基本構想P6参照>

項目	鶴岡市	県内8都市	東北13都市
建物(床面積)※1	0.027㎡	7位	11位
開架率※2	全館:46.5% 本館のみ:27.1%	6位	12位

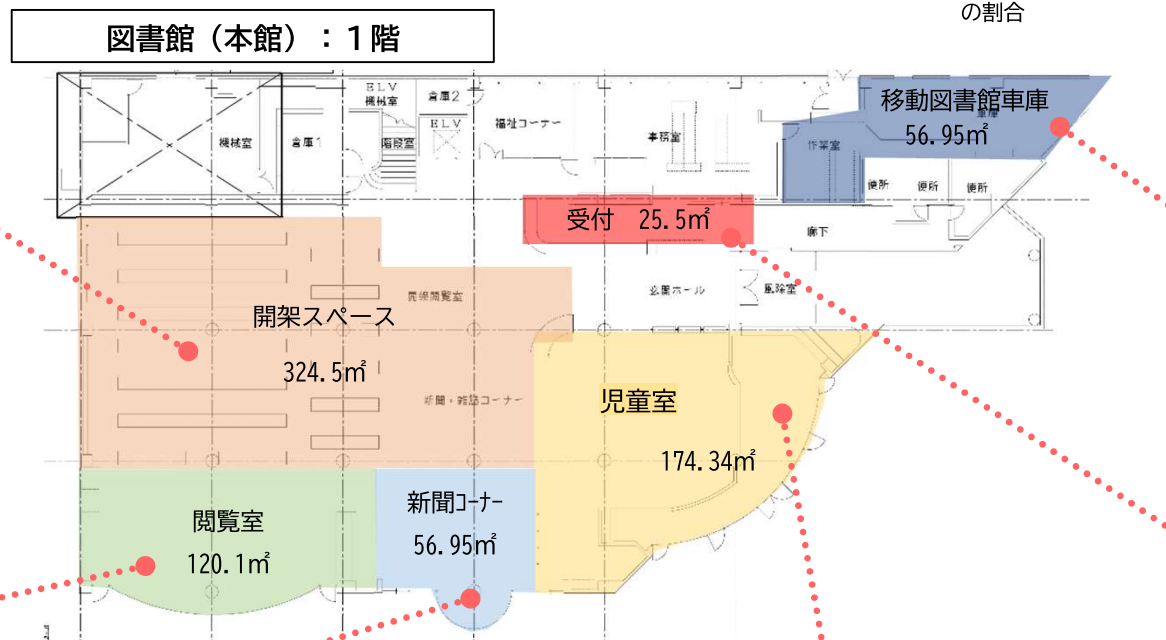
※1：建物(床面積)は、人口1人当たりの図書館建物の床面積

※2：図書館の総蔵書数に対し、利用者が自由に取り出して閲覧できる資料の割合



<開架書架>

- ✓ 本館では約75,000冊の本を開架



<移動図書館車庫>

- ✓ 移動図書館に持っていく本も保管



<閲覧室>

- ✓ 主に学習スペースとして利用



<新聞コーナー>

- ✓ 新聞閲覧台を設置



<児童室>

- ✓ おはなしコーナーを設置



<1階カウンター>

- ✓ 返却、貸出、レファレンスの窓口

鶴岡市立図書館の現状と課題 ②図書館本館2階

鶴岡市立図書館の現状と課題

- ① 蔵書数（図書館の開架・閉架を合わせた総数）は、人口1人当たり「3.33冊」であり、他都市と比べると低水準で、十分な状況とは言い難い
- ② 閉架書庫の面積は547㎡で郷土資料館と共用となっている。現在も閉架書庫には余裕がない状況で、新たに所蔵できる本の受入にも限度がある

※本館の蔵書数：277,700冊（開架：75,353冊、閉架：201,647冊） 基本構想P4参照

<現状（県内・東北都市との比較） ※基本構想P6参照>

項目	鶴岡市	県内8都市	東北13都市
人口1人当たりの蔵書数※1	3.33冊	7位	8位

図書館（本館）：2階



<会議室>

- ✓ 主に図書館や読書推進に関連する団体の会議等で使用



<講座室>

- ✓ 主に図書館の主催事業で使用



<閉架書庫>

- ✓ 郷土資料等や図書を保管



<2階カウンター>

- ✓ 郷土資料館窓口



<展示コーナー>

- ✓ 郷土資料等の企画展示を実施

鶴岡市立図書館の現状と課題 ③図書館本館 各エリア・機能

図書館本館のエリア・機能別の現状と課題

赤書き：改善が必要な内容

青書き：工夫がされている内容

エリア・機能	現状と課題
受付・貸出・返却	① 図書貸出・返却については、バーコードの読み取りで管理 ② <u>自動貸出機は設置しているが、1台のみ</u> ③ 利用者が時間外でも返却できるよう<u>返却ポストを設置</u> ④ 図書館の<u>本館で借りたものは、分館に返却できるなど、相互に対応可能</u>
レファレンス機能 (図書・資料の紹介、調べ方の相談や支援)	① 現在も図書館本館で提供しているものの、その<u>受付は貸出・返却のカウンターと共用しており、利用者を待たせる場合</u>がある ② 郷土資料など専門的な問い合わせについて、的確に答えられる人員が限られるなど、<u>今後は専門人材の育成が必要</u>
閲覧・学習スペース	① <u>高校生のテスト前は閲覧室が満杯となり、現在は2階の講座室を開放</u>している ② 閲覧室の座席が主として4人掛けのテーブル席となっており、それを1人で利用する場合があるなど、<u>座席が効率的に利用されていない事例</u>が見受けられる。<u>1人用の席を増やすなど効率的な席配置が必要</u>
講座室・会議室	① 条例上の貸出施設に位置付けられていないことから、<u>一般利用者が利用することはできない</u> ② 現在は図書館の主催事業や図書関連団体の会議等で利用
児童室・子育て支援機能	① 児童室は子ども向けの「おはなし会」で積極的に利用 ② 児童室が一般の方が利用する空間とつながっており、<u>子どもの声で他の利用者から苦情を出される場合</u>がある ③ <u>授乳室は設置しておらず、また、子どものトイレは大人と共用</u>
飲食機能	① 飲み物（カップのついたもの）は館内の1・2階いずれも可能であるが、<u>食事ができる場所は2階会議室前の廊下に限られており、手狭なスペースのみ</u>

■「講座室」での主催事業の様子



※つちだよしはるワークショップ

■「閲覧室」での高校生自習の様子



※高校のテスト前の状況

■「児童室」でのイベントの様子



※冬のおはなし会

鶴岡市立図書館の現状と課題 ④図書館の主催事業

■ 主な主催事業（令和6年度）

事業名	対象	内容	時期	参加者数
館内おなはし会	幼児・小学生・保護者	✓ 絵本の読み聞かせ、紙芝居ほか	毎週水・土、第2日 計115回	719人
夏のおはなし会	幼児・小学生・保護者	✓ 絵本の読み聞かせ、紙芝居ほか	8/4	64人
クリスマスえほんまつり	幼児・小学生・保護者	✓ 絵本の展示、おはなし会	12/7～12/25	152人
山形小説家講座 鶴岡出張講座	一般	✓ 作家を目指す人や文学の好きな方を対象にした講座 (講師：酒井順子氏、池上冬樹氏)	10/5	68人
図書館ナイトツアー	小学生・保護者	✓ 図書館施設見学・カウンター業務体験ほか	8月中2回	173人
小学生のための図書館講座	小学生・保護者	✓ 「昆虫の成長・子育て～動画による虫の観察～」	7/27	35人

※郷土資料館が行う主催事業は除く



【夏のおはなし会】



【図書館ナイトツアー】



【山形小説家講座 鶴岡出張講座】
※会場：出羽庄内国際村

昨年度の市民対話で得られた市民が期待する主な機能（図書館の基本的機能）【まとめ】

【受付・案内】

- ① [利用者が求めている本を探しやすい](#)図書館、また、知らないジャンルの本が見つかる図書館

【子ども】

- ① [親子が安心して過ごせる](#)エリアとして、[大人用の閲覧スペースとエリアを分けるゾーニング](#)
- ② おはなし会ができるスペース、子どもの勉強場所など、[「子どもの居場所」](#)になるような図書館

【閲覧スペース】

- ① [静かなエリアと、会話や飲食をしながら閲覧できるエリアをゾーニング](#)して、読書する人もしない人も良い時間を過ごせる図書館
- ② [勉強スペースを充実させる、席数を多く設ける](#)など、図書館内で長くゆっくりと過ごせる

【開架書庫】

- ① 新たな本との出会いのため、[大きな書棚](#)にたくさんの本が並んでいること
- ② 専門書や漫画なども含め、[自分で本を手にとれる開架書庫が多い](#)図書館

【講座・会議】

- ① 静かな中での読書だけではなく、[グループワークやミーティングができるスペース](#)、また、[ワークスペース](#)としての図書館
- ② 様々な講座や交流が行われる[交流と創造の拠点、大人のサードプレイス](#)としての図書館
- ③ [用途で間取りを変えられる可変性を持ったスペース](#)があること

【その他】

- ① 建物全体の雰囲気として、[風通しが良く、明るく開放的で、市の文化の中心地](#)としての図書館
- ② 電子図書館やデータベースの整備・導入、また、開館時間を遅い時間までとするなど、[使いやすい図書館](#)
- ③ [環境負荷が少なくバリアフリー](#)で、[使いやすい駐輪場や駐車場を備えた、公共交通機関でもアクセスしやすい](#)図書館

昨年度の市民対話で得られた市民が期待する主な機能（図書館の基本的機能）＜意見一覧＞【参考】

昨年度の図書館ミーティング等の市民対話においては、図書館の基本的な機能等として「飲食しながらの閲覧環境」、「子どもの居場所」、「ゆっくりできる・落ち着いた・開放的な空間」等に関する意見が多い

【子ども】

- ① 親子で過ごしやすい（授乳・おむつ交換・育児書・絵本が近い）
- ② 子ども用と大人用でエリアを分ける
- ③ おはなし会ができるスペース
- ④ 子どもが友達と遊べるスペース
- ⑤ 「子どもの居場所」（例：武蔵野プレイスのような）
- ⑥ 子どもの「勉強したい意欲」をかきたてる空間、勉強場所

【閲覧スペース】

- ① 長くゆっくりできる、席数が多い
- ② 静かに読書できる
- ③ 人の気配が感じられる、しゃべりやすい、ヒソヒソ静かじゃない方がいい
- ④ 読書する人もしない人も良い時間を過ごせる場所に
- ⑤ 畳スペース
- ⑥ 自由に過ごせる空間がある
- ⑦ 十分なパーソナルスペースがとれる
- ⑧ 静かなエリア・おしゃべり可能エリアのゾーニング分け
- ⑨ 充実した勉強スペース
- ⑩ 飲食可

【開架書庫】

- ① 本を手にとれる環境、自分で手に取り目で見て選ぶことができる
- ② 資料保存、書棚が大きい
- ③ 開架の多い図書館、たくさんの本が所狭しと並んでいる事
- ④ 書棚からインスピレーションがわく
- ⑤ 専門書の充実
- ⑥ 漫画を読みたい

【講座・会議】

- ① 用途で変えられる間取り
- ② ミーティング・グループワークができる
- ③ お昼寝・キッズルーム等 有料のラグジュアリー（区別化）
- ④ 交流と創造の場、クリエイティブ拠点
- ⑤ 展示やイベントを観て、「自分もしたい！」をすぐに始められる環境
- ⑥ 講座（古文書・スマホ・模型・金継ぎ・本づくり・自叙伝・ギター等）
- ⑦ 仕事・家庭だけでなくサードプレイスとしての大人の居場所も必要
- ⑧ ワークスペースとして使いたい
- ⑨ 仮眠スペース

【受付・案内】

- ① 求めている本が探しやすい図書館
- ② 利用者が本を見つけたいと思える図書館
- ③ 知らないジャンルの本が見つかる

【その他】

<建物全体の雰囲気>

- ① 市の文化の象徴としての存在
- ② 派手すぎない落ち着いた図書館
- ③ 清潔感あふれる
- ④ 木材がふんだんに使われている
- ⑤ 開放的、明るい、風通し良い、ガラス張り、テラス
- ⑥ 天井が高い、タテの解放感
- ⑦ 館内を歩くと自分の日常では出あえない刺激が味わえる
- ⑧ 賑やかな文化の中心地

<建築設備・外構>

- ① 冬の日光不足をカバーできる照明がある
- ② 環境にやさしい
- ③ 外でもゆっくりできる広場があるといい
- ④ バリアフリー
- ⑤ 使いやすい駐輪場
- ⑥ 十分な駐車場

<サービス面>

- ① 読んだ本を良かったと感想を共有できる
- ② 読みたい本がない時、県内の図書館からスムーズに借りられる
- ③ 自分のおすすめの本を置く棚
- ④ 電子図書館、データベース（デジタルアーカイブ）の整備
- ⑤ オートメーション（無人化）
- ⑥ 開館時間が長め 21:00とか22:00まで
- ⑦ 伝言板・掲示板（仲間募集、教えあい、感想、ふせん）
- ⑧ 時間帯で使い方を区分する
- ⑨ 図書館⇄学校の図書の文書便ルート
- ⑩ 入館者、貸出冊数が大幅に増えるように、指定管理者制度を視野に

<その他>

- ① 公共交通機関でアクセスしやすい

新しい図書館の基本的な機能（受付・案内）

- ① 利用者が探している図書や資料にアクセスできるよう、レファレンス機能の充実を検討します
- ② 図書の貸出の利便性を向上させるため、自動貸出機を複数導入することを検討します
- ③ 現在は導入していない民間の有料データベース等を導入することで、利用者がより高度な情報収集が可能となるよう検討を進めます

新図書館で想定される エリア構成

○受付・案内

受付
案内

子ども
スペース

新聞
雑誌
スペース

開架
書庫

講座
会議
学習

閲覧
スペース

郷土
資料



（出典：岐阜県立図書館HP）



（出典：深谷市立図書館HP）



（出典：米沢市立図書館HP）



（イメージ画像）

拡充

■ レファレンスサービス（相談機能）

- ✓ 図書や資料についての紹介、探す手伝いをするレファレンス機能について、専用カウンターを設置（※）するなどサービスの充実を検討します
- ✓ 調査や研究など、より専門性の高い問い合わせについて支援が可能となるよう、専門人材の育成に努めます

※現在は貸出カウンターと共用

拡充

■ 自動貸出・返却機能

- ✓ 貸出カウンターが混雑している場合でも、利用者が素早く図書の貸出・返却ができるよう自動貸出機を複数設置（※）することを検討します
 - ✓ あわせて、時間外でも利用者が返却できるよう返却ポストを設置します
- ※現図書館は自動貸出機1台のみ設置、返却ポストは現在もあり

New

■ 有料の資料・記事等の検索

- ✓ 利用者が情報収集しやすくなるよう、過去の新聞記事や資料、企業情報を調べることができる民間の有料データベース（※）の導入を検討します

※現在は未導入

新しい図書館の基本的な機能（開架書庫・閲覧スペース等）

- ① 利用者が広々とした空間で、より多くの図書や資料を手に取り、自分で見て選択することができよう、開架書庫の拡大を検討します
- ② 利用者がゆったりとした空間、多様な場所で図書に親しむことができるよう閲覧スペースの確保・工夫について検討します

○開架書庫・新聞雑誌スペース



（イメージ画像）



（イメージ画像）

拡充

■ より多くの図書等の開架・広々とした開架書庫

- ✓ 利用者がより多くの図書を実際に手に取って、選ぶことができるよう、[開架書庫の拡大](#)を検討します
- ✓ その際、[より開放的な空間で利用者がゆったりと図書を選ぶことができる](#)など、開架スペースの空間づくりについても検討します

新図書館で想定されるエリア構成

子ども
スペース

受付
案内

新聞
雑誌
スペース

開架
書庫

講座
会議
学習

閲覧
スペース

郷土
資料

○閲覧スペース



（出典：石川県立図書館HP）



（出典：神奈川県立図書館HP）



（出典：石川県立図書館HP）

拡充

■ 多様で利用者の好みに合った閲覧空間づくり

- ✓ 本棚の前に席を設け、本に囲まれながら読書に親しめる閲覧席、外の景色を眺められる閲覧席、広い空間と一体になった閲覧席など、[利用者が多様な場所でゆっくりと読書に親しめる空間づくり](#)を検討します

新しい図書館の基本的な機能（子どもスペース）

- ① 親も子どもと一緒に安心して読書を楽しむことができるよう、子ども専用室の設置や子ども図書の充実を検討します
- ② 子ども専用室の近くには授乳室や子ども専用のトイレを設置するなど、子育て世代が利用しやすい機能の充実を検討します

新図書館で想定される エリア構成

子ども
スペース

受付
案内

新聞
雑誌
スペース

開架
書庫

講座
会議
学習

閲覧
スペース

郷土
資料

○子どもスペース



（出典：石川県立図書館HP）

拡充

■ 子ども専用のスペース

- ✓ 子どもと一緒に読み聞かせができる、子どもの元気な声が広がっていても気兼ねなく利用できるなど、音のゾーニングがされている子ども専用のスペースを検討します



（イメージ画像）



（出典：岐阜市立図書館HP）



（出典：刈谷市中央図書館HP）



（出典：岐阜市立図書館HP）

拡充

■ 子ども図書の充実

- ✓ 子ども専用スペースの設置にあわせ、えほんなど子ども向け図書の充実を検討します

New

■ 授乳室や子ども専用トイレの設置

- ✓ 親も子どもと一緒に安心して図書館を楽しむことができるよう、子ども部屋の近くに授乳室や子ども専用トイレの設置（※）を検討します
※現在は授乳室、子ども専用トイレは未導入

新しい図書館の基本的な機能（講座・会議・学習スペース）

- ① 主催事業や会議で利用できる多目的なスペースの設置を検討します。また、主催事業などで使用しない際は、市民へ貸し出しを行い、市民グループの活動など、誰もが利用できるスペースとなるよう検討します
- ② 高校生の学習や仕事で静かに利用するスペース、飲食や休憩ができるスペースの設置を検討します

○講座・会議・学習スペース

新図書館で想定される
エリア構成

子ども
スペース

受付
案内

新聞
雑誌
スペース

開架
書庫

講座
会議
学習

閲覧
スペース

郷土
資料



（出典：多摩中央図書館HP）



（イメージ画像）

New

■ 講座や会議、打ち合わせ、市民活動など多目的に利用できる空間

- ✓ 図書館の主催事業に加え、誰もが予約をして利用できる貸出機能を有する会議室・多目的スペースの設置を検討します



（出典：武蔵野市立図書館HP）



（出典：多摩中央図書館HP）



（イメージ画像）

拡充

■ 学習室など静かに利用する空間

- ✓ 高校生が学習する、仕事や研究で静かに利用したい方向けの空間づくりを検討します

New

■ 休憩スペース、外の空間との接続

- ✓ 休憩や飲食など自由に使える空間の設置について検討します。また、外の空間と接続するラウンジの設置等についても検討します